



香川県の観音寺・二豊地区実行委員会主催で「大軍拡・金権政治に反対し、消費税減税・インボイス廃止を求める、憲法に基づく税制・税務行政の確立のため全納

税者があげよう」と重区実行委員会主催で「大軍拡・金権政治に反対し、消費税減税・インボイス廃止を求める、憲法に基づく税制・税務行政の確立のため全納

一国会で自公が少數与党となり、国民の要求が通りやすい情勢だ」と強調。「数は力で、納税者を守る民商を大きくしよう」と呼びかけました。

白川よう子参院比例候補が招かれ来賓あいさつをしました。白川氏は「春闘で大企業には満額回答が続いているが、物価高騰に負上

が追いつかず、中小企業には支援がなく、最低賃金の引き上げが押しつけられ、国民は苦しんでいる。一方、

原発をなくす香川の会の開きました。約50人が参加し、リレートークと四国電力前まで商店街をアピール

細川浩志事務局長は伊方原発の運転差し止めを認めな

う、とんでもない判決だ」と批判。「フクシマの事故

を忘れ、【2面につづく】

3・13重税反対 観音寺・二豊地区集会 白川氏訴える



被災・フクシマ原発事故から14年 集合とアピールウォーク



自民党は裏金を脱税。大企業・富裕層には大減税し、内部留保が貯まっている」と指摘。「大軍拡でなく、いのちや暮らしに予算を。大企業・富裕層への減税ではなく、中小企業への支援と商売への予算をと声をあげ政治を変えいきましょう」と呼びかけました。

集会後、参加者は税務署に集団申告をしました。



日本被団協のノーベル平和賞を祝う集い

高松市で16日、日本被団協のノーベル平和賞を祝う集い(同実行委員会主催)が開かれ、約100人が参加しました。実行委員長の西川清・善通寺にしかわクリーフ院長は、「世界から核の脅威は去っていない。日本被団協がノーベル平和賞を受賞したが、運動を次世代に引き継いでいかなくてはいけない」と述べました。

香川県原爆被害者の会前会長でジャズピアースト的好井敏彦氏が講演し、「人類は愚かだ。核兵器は、相手と同じく自分も持ち、製造されるwynフルと同じ。毎年どれだけの軍事費が使われるのか」と語りました。好井氏はピアノを演奏し、「遠くへ行きたい」「100万本のバラ」などを披露しました。

民主香川 発行日のお知らせ

しんぶん赤旗日曜版は、3月9日と16日が合併号でした。よって民主香川の3月の発行日は、第1週目が2日、第3週目が9日、4週目が30日の発行に変更となっています。

『お詫び』

2025年3月9日の第2019号の4面の「讀岐の文学碑めぐり」のタイトルが「日治安維持法施行から百年」となっており「日」の字が誤って加えられていました。正しくは「治安維持法施行から百年」です。編集部の誤記をお詫びし、訂正します。

龍松山法泉寺。臨済宗京都妙心寺派に属する禅宗寺院。本尊は釈迦如来。寺紋は生駒氏の家紋と同じ源氏車。もとは宇多津の海藏寺。生駒親正が志度から宇多津に移した海藏寺を、慶長3年(1598)に生駒一正が高松三番丁に移して法泉寺と寺号を変え、弘憲寺とともに生駒家の菩提寺とした。

※元徳2年(1330)铸造の小ぶりの銅鐘は生駒親正が文禄の役(1592)で陣鐘として朝鮮に持参し、帰国後法泉寺に寄進したと伝えられる。老朽化のため平成25年(2013)に鐘楼とともに撤去。

台座とともに16・6mの大仏迦像は、日清・日露戦争の県内出身戦没者2329人を供養する忠魂碑として県下全寺が建立された。これにより寺域が道路幅だけ東に移動。焼け残った山門は南向きに移転。大仏迦像は約70m東に移動し、西向きに向きを変えて立て直された。総重量440トンの釈迦像を立つたまま台座ごと動かす大工事であった。昭和

し、明治44年(1911)10月に落慶法要を行ったもの。(ただし、台座には「明治40年12月建立 各宗聯合報國會」とある)建立時の像は、境内の西側に東向ぎに立てられた。作者は香川と同様源氏車。もとは宇多津の海藏寺。生駒親正が志度から宇多津に移した海藏寺を、慶長3年(1598)に生駒一正が高松三番丁に移して法泉寺と寺号を変え、弘憲寺とともに生駒家の菩提寺とした。

※元徳2年(1330)铸造の小ぶりの銅鐘は生駒親正が文禄の役(1592)で陣鐘として朝鮮に持参し、帰国後法泉寺に寄進したと伝えられる。老朽化のため平成25年(2013)に鐘楼とともに撤去。

台座とともに16・6mの大仏迦像は、日清・日露戦争の県内出身戦没者2329人を供養する忠魂碑として県下全寺が建立された。これにより寺域が道路幅だけ東に移動。焼け残った山門は南向きに移転。大仏迦像は約70m東に移動し、西向きに向きを変えて立て直された。総重量440トンの釈迦像を立つたまま台座ごと動かす大工事であった。昭和

28年(1953)4月8日開眼供養。

「法泉寺の大仏迦像も戦時中は金属絶対不足のあたりで政府への供出を命じられた。寺は仏教会が建造したもの故、寺の存で決めかねると抵抗するも拒否できず、せめて頭部だけは保存したいので、胴体を切断して持つて行って欲しいと申し出るや、そのまま沙汰やみになつたという。」(『戦跡を歩く香川県』)

「高松が空襲で焼けたときも、法泉寺のお釈迦さんが怪我ひとつせずにもとの姿のまま立つておらるでしょう。あの時も、ああ、このお釈迦さんはすごい、と思いましたよ。日本軍も、アメリカ軍も、法泉寺のお釈迦さんは手が出せんかったのです。すごいことだと思いましたか?」

法泉寺のお釈迦さんが怪我ひとつせずにもとの姿のまま立つておらるでしょう。あの時も、ああ、このお釈迦さんはすごい、と思いましたよ。日本軍も、アメリカ軍も、法泉寺のお釈迦さんは手が出せんかったのです。すごいことだと思いましたか?」

「法泉寺の大仏迦像も戦時中は金属絶対不足のあたりで政府への供出を命じられた。寺は仏教会が建造したもの故、寺の存で決めかねると抵抗するも拒否できず、せめて頭部だけは保存したいので、胴体を切断して持つて行って欲しいと申し出るや、そのまま沙汰やみになつたという。」(『戦跡を歩く香川県』)

「高松が空襲で焼けたときも、法泉寺のお釈迦さんが怪我ひとつせずにもとの姿のまま立つておらるでしょう。あの時も、ああ、このお釈迦さんはすごい、と思いましたよ。日本軍も、アメリカ軍も、法泉寺のお釈迦さんは手が出せんかったのです。すごいことだと思いましたか?」

「法泉寺の大仏迦像も戦時中は金属絶対不足のあたりで政府への供出を命じられた。寺は仏教会が建造したもの故、寺の存で決めかねると抵抗するも拒否できず、せめて頭部だけは保存したいので、胴体を切断して持つて行って欲しいと申し出るや、そのまま沙汰やみになつたという。」(『戦跡を歩く香川県』)

<p